

平成 21 年 2 月

江差信用金庫の経営内容について

(平成 20 年 12 月末 現在)

お客様 各位

当金庫の平成 20 年 12 月末現在における、主要計数、重要指標等について次のとおりお知らせいたします。

四半期毎の情報開示につきましては、直近の経営実態をお取引先の皆さまにいち早くお伝えすることで、当金庫の健全性・安全性をご理解いただき、安心してお取引いただくために、任意で開示させていただくものであります。

今回公表させていただいた計数は、12 月末時点において、3 月期末決算とほぼ同様の決算処理を行い算出しております。

なお、信用金庫における法定の決算は 3 月期末のみであり、開示債権をはじめとする計数等については監査法人等の監査を受けていないことをご承知おきください。

江差信用金庫
理事長 渡邊捷美

■ 営業店一覧

本店 営業部	桧山郡江差町字本町 1 3 2 番地	0139-52-1036
上ノ国支店	桧山郡上ノ国町字大留 2 4 4 番地の 9	0139-55-2616
熊石支店	二海郡八雲町熊石根崎町 1 1 5 番地の 1	01398-2-3026
乙部支店	爾志郡乙部町字緑町 3 9 9 番地の 1	0139-62-2034
厚沢部支店	桧山郡厚沢部町新町 9 2 番地の 2	0139-64-3231
福島支店	松前郡福島町字福島 5 3 番地の 1	0139-47-2022
奥尻支店	奥尻郡奥尻町字奥尻 8 0 9 番地	01397-2-2525
函館支店	函館市松陰町 23 番 4 号	0138-53-3221
松前支店	松前郡松前町字福山 5 0 番地の 1	0139-42-2727
七重浜支店	北斗市七重浜 2 丁目 2 8 番 1 1 号	0138-49-1671



平成 20 年度（平成 21 年 3 月期）第 3 四半期の概況
（平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 12 月 31 日）

■ 損益の状況

- 平成 20 年 12 月期の業績は、世界的金融危機に伴う国内株式市場の下落を受けて、保有する株式投資信託の減損処理を行った結果、「業務純益」は 165 百万円（前年同月比△179 百万円・△52.13%）と減少しましたが、「経常利益」・「四半期(当期)純利益」は、貸倒引当金の戻入や償却債権取立益もあり、それぞれ、154 百万円（同 737 百万円・126.47%）、245 百万円（同 847 百万円・140.89%）の増益（黒字回復）となりました。

単位：千円・%

	20 年 12 月末 (A)	19 年 12 月末 (B)	増減額 (A)-(B)	増減率
業 務 純 益	165,041	344,786	△ 179,744	△ 52.13
経 常 利 益	154,265	△ 582,743	737,008	126.47
四半期(当期)純利益	245,860	△ 601,158	847,018	140.89
コ ア 業 務 純 益	391,806	509,706	△ 117,899	△ 23.13

(注 1) 記載金額は千円未満および小数点 3 位以下を切り捨てて表示しております。

(注 2) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券売却益－国債等債券償還益＋国債等債券売却損＋国債等債券償還損＋国債等債券償却

■ 開示債権の状況

- 不良債権は平成 20 年 3 月末に比べ 1 百万円減少しております。

(1) 金融再生法ベースの債権区分による開示

単位：百万円

区 分	20 年 12 月末 (A)	20 年 3 月末 (B)	増 減 (A)-(B)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1,087	476	611
危険債権	2,499	3,109	△ 610
要管理債権	163	166	△ 2
小 計	3,750	3,752	△ 1
正 常 債 権	72,778	70,451	2,326
合 計	76,529	74,203	2,325

(注 1) 3 月末の自己査定をベースとして、簡便的な債務者区分の見直しを行い、債務者区分が下方に変更になった債権および期間中の回収額を反映させております。

(注 2) 貸出金のほか債務保証見返(代理貸付等に伴う保証)、未収利息および与信に関連する仮払金を含めております。

(2) 開示債権区分毎の保全状況

単位：百万円

区 分	20 年 12 月末 (A)	担保・保証による保全 (B)	貸倒引当金 (C)	(A)-(B)-(C)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1,087	568	519	-
危険債権	2,499	2,057	439	3
要管理債権	163	74	49	40
小 計	3,750	2,699	1,007	43
正 常 債 権	72,778			
合 計	76,529			

(注 1) 担保・保証による保全(B)には、3 月末から基準月末における担保劣化あるいは保証の見直し等に伴う変動額を反映させております。

(注 2) 貸倒引当金(C)は 3 月末から基準月末の間で債務者区分の下方変更および担保・保証の見直しに伴って発生する必要額を見積もった額で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」について個別貸倒引当金を、また、要管理債権については貸倒実績率に基づき算定した一般貸倒引当金を計上しております。

※ 記載金額は単位未満および小数点 3 位以下を切り捨てて表示しております

■ 自己資本の状況

- 平成20年12月期の「自己資本総額」は13,173百万円、「自己資本比率」は19.74%となりました。
「自己資本総額」は、自己資本比率規制の弾力化措置に伴い有価証券評価差損の控除を要しなくなったほか、年度中の期間収益が245百万円増加したものの、他の銀行に対する劣後ローン拠出額500百万円を資本控除とした結果、136百万円減少しました。

分母となる「リスク・アセット等」は、預金の増加に伴う運用資産の増加等により4,468百万円増加し、「自己資本比率」は1.63ポイント低下しました。

単位：百万円

	20年12月末 (a)	20年3月末 (b)	増減 (a)-(b)
自己資本比率 A÷B	19.74%	21.37%	△ 1.63
自己資本総額 …A	13,173	13,309	△ 136
基本的項目計	13,256	12,920	335
補完的項目計	417	389	27
控除項目計 (△)	500	-	500
リスク・アセット等 …B	66,729	62,261	4,468
オン・バランス項目	61,577	57,079	4,498
オフ・バランス項目	368	398	△ 29
オペレーショナル・リスクを8%で除して得た額	4,783	4,783	-

■ 主要勘定の状況

- (1) 預金 142,034百万円 (年度初来8,731百万円の増加)

- 預金は、金融機関預金で減少が見られたものの、公金預金で前期末に一時引き揚げされた北海道預託金等の再預入や地方公共団体の交付税交付金等の滞留から大幅増加が見られた他、個人・一般法人においても堅調に推移したことから、前期末対比で8,731百万円増加しました。

◇預金人格別の状況

単位：百万円

	20年12月末 (A)	20年3月末 (B)	増減 (A)-(B)
一般預金	126,476	122,813	3,663
個人預金	105,758	104,134	1,624
一般法人預金	20,718	18,679	2,039
公金預金	15,150	9,820	5,329
金融機関預金	406	668	△ 261
合計	142,034	133,303	8,731

(注)預金は譲渡性預金を含みます。

- (2) 貸出金 75,975百万円 (年度初来2,277百万円の増加)

- 貸出金は、地方公共団体で期末一時借入金の返済から大幅な減少となったほか、個人においても住宅ローンの低迷から減少が見られたものの、上部団体である信金中金を主とする金融機関向け貸出と、製造業及び建設業の年末資金需要等を主因に前期末対比で2,277百万円増加しました。

◇貸出金業種別の状況

単位：百万円

	20年12月末 (A)		20年3月末 (B)		増減 (A)-(B)	
	先数	金額	先数	金額	先数	金額
製造業	111	7,734	107	6,326	4	1,408
農業	4	9	5	17	△ 1	△ 8
林業	11	398	12	340	△ 1	58
漁業	8	28	10	31	△ 2	△ 3
鉱業	1	13	1	9	-	4
建設業	243	8,269	244	7,801	△ 1	468
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-
情報通信業	1	440	1	484	-	△ 44
運輸業	35	891	37	801	△ 2	90
卸売業	40	2,980	40	2,657	-	323
小売業	197	5,518	194	5,476	3	42
金融・保険業	10	2,334	10	639	-	1,695
不動産業	285	18,288	279	18,000	6	288
各種サービス業	314	12,939	313	13,314	1	△ 375
地方公共団体	12	3,661	12	4,886	-	△ 1,225
個人	3,927	12,466	4,148	12,910	△ 221	△ 444
合計	5,199	75,975	5,413	73,698	△ 214	2,277

※ 記載金額は単位未満および小数点3位以下を切り捨てて表示しております

(3) 有価証券

- 有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種のリスクに配慮した安全な運用に努めており、12月末における有価証券の保有状況は以下の通りであります。

◇満期保有目的の債券で時価のあるもの

単位：百万円

	20年 12 月末			20年3月末
	償却原価	時 価	差 額	差 額
国 債	9,913	10,296	382	331
政 保 債	2,498	2,556	58	49
外 国 証 券	2,500	2,284	△ 215	△ 89
満期保有目的債券 計	14,911	15,138	226	291

◇その他有価証券で時価のあるもの

単位：百万円

	20年 12 月末					20年3月末	
	取得原価	時 価	評価差額	評価差額		評価差額	
				うち益	うち損		
国 債	9,438	9,371	△ 67	107	174	△ 63	
地 方 債	1,214	1,225	10	10	0	16	
社 債	政 保 債	1,655	1,702	46	46	0	40
	金 融 債	6,260	6,164	△ 95	34	129	11
	事 業 債	1,100	1,103	3	3	-	3
その他	投資信託	1,126	875	△ 251	-	251	△ 165
	優先出資証券	343	276	△ 67	-	67	26
その他有価証券 計	21,139	20,718	△ 420	202	623	△ 130	

◇時価のない有価証券

その他有価証券	非上場株式	5,660千円
	投資事業有限責任組合出資金	19,162千円

トピックス

- 地域貢献活動等のご紹介（平成20年4月から12月まで）
地域の皆さまに少しでもお役に立つため、各地域で行われている諸行事に積極的に参加・参画をさせていただいております。

□ 環境への取組

- ・江差町・上ノ国町・八雲町・乙部町・福島町・奥尻町・函館市・松前町・北斗市の町内会を中心とした清掃活動へ参加し、町内・海水浴場等の一斉清掃を行いました。（本店・上ノ国・熊石・乙部・福島・奥尻・函館・松前・七重浜支店）
- ・信用金庫の日（6月15日）に「第2回江差町 町民の森育樹祭」へ参加し、下草刈りを行いました。（本店営業部）
- ・「干軒・三岳国道パーキング」秋のクリーン作戦に参加しました。（福島支店）

□ 地域行事への参加

- ・「夫婦の手紙全国コンクール」の審査員を務め、表彰式では運営・会場設営の手伝いをしました。（松前支店）
- ・「交通安全運動キャンペーン」に参加し、安全運転の呼びかけ等を実施しました。（本店・上ノ国・熊石・福島支店）
- ・その他、お祭りははじめ各種イベントに積極的に参加しております。（全店）

□ 年金友の会活動

- ・第27回江差しんきん年金友の会総会を函館市民会館にて開催し、アトラクションとして「小林 幸子ショー」を実施しました。
- ・第10回年金友の会「パークゴルフ大会」を厚沢部町にて開催しました。

□ 福祉活動

- ・特別養護老人ホームくまいし荘の文化祭で模擬店の手伝いをしました。（熊石支店）

□ 文化活動

- ・町内在住アマチュアカメラマンの作品発表の場としてロビーを開放しました。（厚沢部支店）
- ・ATMコーナー等にて消防署主催、「防火書道・作品コンクール」の入賞作品展示会を開催しました。（福島・松前支店）

□ スポーツ振興への支援

- ・「江差信金杯グランドゴルフ大会」を開催しました。（奥尻支店）
- ・「桧山中学校野球大会」「江差信金杯道南軟式少年野球大会」に審判団の一員として参加しました。（厚沢部支店）

□ 寄 付

- ・町おこし事業として行われた「歴まち風呂敷の製作」事業の一部として、江差町歴まち商店街協同組合へ寄付を行いました。
- ・ボランティア活動団体・桧山南部ふれあい船の旅実行委員会が主催する「福祉の集い ふれあい船の旅」へ寄付を行いました。
- ・「桧山パークゴルフ愛友会」へ芝管理・維持のための「乗用芝刈り機」購入資金を補助しました。（以上本店営業部）

□ そ の 他

- ・渡島西部広域事務組合福島消防署職員による「AED」の操作および「心肺蘇生法」を受講しました。（福島支店）
- ・「ふくしま健康フェスティバル」において町内医師による健康相談等の受付・案内を手伝いました。（福島支店）
- ・「振込詐欺撲滅推進月間」にあわせ街頭キャンペーンを実施しました。（本店営業部）
- ・「セーフティラリー北海道2008」へ参加し、交通安全意識の高揚を図りました。（全店）

※ 記載金額は単位未満および小数点3位以下を切り捨てて表示しております